

隊員情報：石井信（不動建局建設振興課）、岩下隆成（国政局総合計画課）、笠野良太（農振局農村計画課）

鶴岡市の魅力ポイント

■ 面積 1311.53km² ■ 人口 約11.8万人 ■ 指定地域 過疎

- 3つの日本遺産 出羽三山、サムライゆかりのシルク、北前船
- サイエンスベンチャー拠点 慶應義塾大学先端研、YAMAGATA DESIGN
- 世界に認められた食文化 ユネスコ食文化創造都市に認定
- **開湯1,200年の歴史を誇る「あつみ温泉」**
- 経済産業省 伝統的工芸品「羽越しな布」
- **在来作物「焼畑あつみかぶ」の原産地**
- ブランド水産物 紅えび、庄内おぼこサワラ、庄内北前ガニ
- ➡歴史と最先端技術の温故知新が共存、海と山両方の恵みを楽しめる自然豊かなまち！
- **第62回農林水産祭で越沢自治会が「むらづくり部門」で内閣総理大臣賞を受賞！**



焼畑あつみかぶ



国宝 羽黒山五重塔



SUIDEN TERRASSE



隊員情報：石井信（不動建局建設振興課）、岩下隆成（国政局総合計画課）、笠野良太（農振局農村計画課）

鶴岡市温海地域の課題

■ 政策分野 農産物の販路拡大・地域の担い手確保

- 在来作物「温海カブ」の生産農家の高齢化による栽培戸数と生産量の減少
- 温海カブを栽培する際の焼畑農法を始めとした栽培・加工技術の継承者の減少
- 焼畑農法によって育てる温海カブ「焼畑あつみかぶ」のブランディング・高単価化・販路拡大



実際に訪問したところ・・・

- 生産量が少量・不安定で、既存販路にも高付加価値品を充分提供できていない
- 生産農家ごとに品質やブランド化意識に差があり、販売機会を生かし切れていない

応援隊の活動報告

これまでの活動

- R4年8月以降、概ね月1回程度のオンラインミーティングを実施。R4年11月、R5年11月、R6年11月の3回現地に訪問。
- 現状把握・課題整理・対応方針作成について隊員としての目線で助言。

取組の成果

- 生産量確保に必要な人手の確保に向け、収穫体験を盛り込んだ「農業労働力支援ツアー」の造成を提案。同趣旨の取組を別地域で行い、隊員とつながりのあったJA全農・JTBの担当者を紹介。
- JA全農山形・JTB等の協力のもと、R6年11月に「農業労働力支援ツアー」を開催。

今後の取組について

- 「農業労働力支援ツアー」について、改善点（☆）などを整理した上で、より生産量向上に資するプランとして次年度以降継続する。
- ☆ 新たな施策であり、関係者間での実施目的の共有が途上（周辺効果を含めた交流人口確保（観光・地域振興）策として捉えられ、農業関係者に生産量を増やすための取組としての認識されていない等）、プランとしての熟度の向上等
- 当初からの課題であった販路拡大については、ECサイトの更なる活用等の応援隊の提案を踏まえ、市として対応を検討。